

# 令和3年度第13回ヨコハマeアンケート 下水道事業に関するアンケート（～かけがえのない環境を未来へ～）

実施期間 令和3年12月10日（金）から12月24日（金）

事業所管課 環境創造局 下水道事業マネジメント課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	13 (0.4%)	59 (1.7%)	193 (5.5%)	418 (11.9%)	433 (12.4%)	424 (12.1%)	254 (7.2%)	1 (0.0%)	1,795 (51.2%)
女性	9 (0.3%)	101 (2.9%)	481 (13.7%)	541 (15.4%)	382 (10.9%)	132 (3.8%)	41 (1.2%)	0 (0.0%)	1,687 (48.1%)
不明	1 (0.0%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	6 (0.2%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	22 (0.6%)
計	23 (0.7%)	163 (4.7%)	677 (19.3%)	965 (27.5%)	819 (23.4%)	560 (16.0%)	296 (8.4%)	1 (0.0%)	3,504 (100.0%)

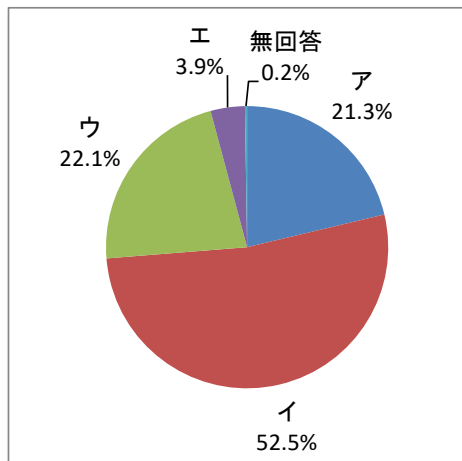
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	1 (7.7%)	11 (18.6%)	52 (26.9%)	167 (40.0%)	183 (42.3%)	230 (54.2%)	140 (55.1%)	1 (100.0%)	785 (43.7%)
女性	1 (11.1%)	9 (8.9%)	76 (15.8%)	157 (29.0%)	123 (32.2%)	55 (41.7%)	11 (26.8%)	0 (0.0%)	432 (25.6%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (22.7%)
計	2 (8.7%)	20 (12.3%)	128 (18.9%)	326 (33.8%)	307 (37.5%)	287 (51.3%)	151 (51.0%)	1 (100.0%)	1,222 (34.9%)

Q1 日常生活の中で下水道を意識することはありますか。  
(単一選択)

n = 1,222

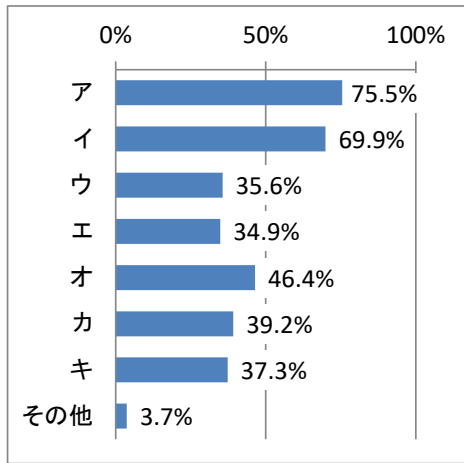
ア	よくある	21.3%	260
イ	たまにある	52.5%	641
ウ	ほとんどない	22.1%	270
エ	全くない	3.9%	48
無回答		0.2%	3
		100.0%	1,222



**Q2** Q1で「ア よくある」、「イ たまにある」と回答された方にお聞きします。  
 どんな時に下水道を意識しますか。  
 (複数選択可)

n = 901

ア	家庭で水を流すとき(トイレ・お風呂・台所)	75.5%	680
イ	大雨や浸水が発生した時またはそのニュースを見た時	69.9%	630
ウ	地震が発生した時またはそのニュースを見た時	35.6%	321
エ	川や海がきれいまたは汚いと感じる時	34.9%	314
オ	下水道の工事現場を見かけた時	46.4%	418
カ	道でマンホールのふたを見た時	39.2%	353
キ	下水道使用料の請求が来た時	37.3%	336
その他		3.7%	33



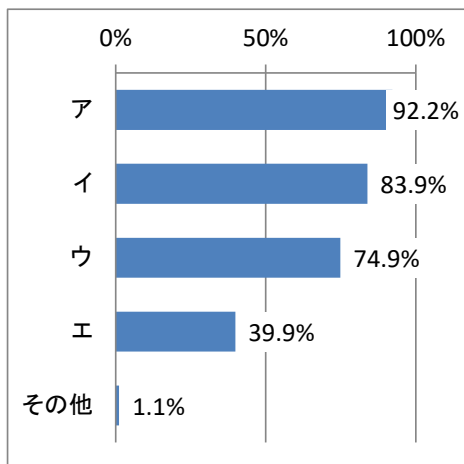
その他(抜粋)

近所を歩いていて下水の臭いのようなものを感じたとき
下水処理場の近くを通ったとき
災害時の状況を考えたとき

**Q3** 全員にお聞きします。  
 下水道の役割や仕組みについて、知っているものを全て選んでください。  
 (複数選択可)

n = 1,222

ア	下水道があることで水洗トイレが使用できる	92.2%	1,127
イ	家庭等で使った水は水再生センターできれいにしてから川や海に返されている	83.9%	1,025
ウ	雨水を下水道管で川や海に排出することで街を浸水から守っている	74.9%	915
エ	下水道には雨水と汚水が同じ下水道管を流れる合流式と雨水と汚水が分かれて流れる分流式がある	39.9%	487
その他		1.1%	14



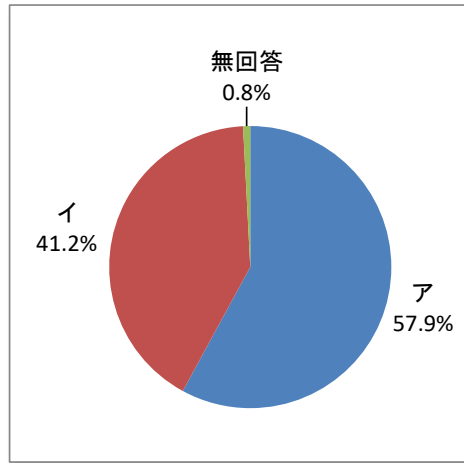
その他(抜粋)

下水道の再生水や汚泥を資源として利用
具体的には何も知りませんでした

**Q4** 家庭や工場などから出る汚水をきれいにする費用には、市民や事業者の皆様がお支払いいただいている下水道使用料が使われ、自然現象である雨水を流すための費用には税金が使われています。このことを知っていましたか。  
(単一選択)

n = 1,222

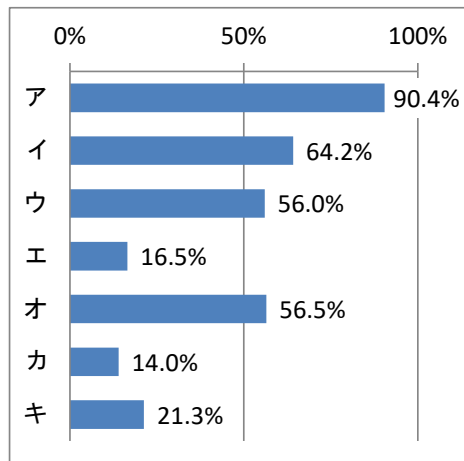
ア	はい	57.9%	708
イ	いいえ	41.2%	504
無回答		0.8%	10
		100.0%	1,222



**Q5** 下水道事業では様々な取組を行っています。次のうち、知っている取組を全て選んでください。  
(複数選択可)

n = 1,222

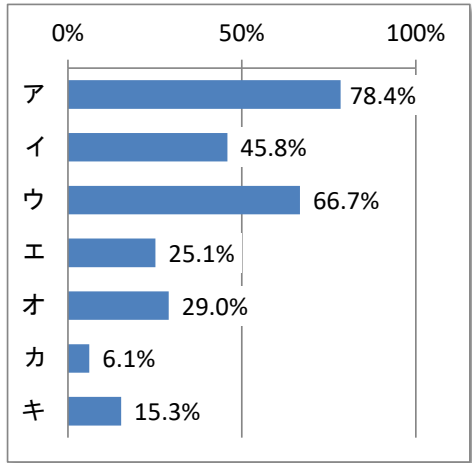
ア	下水道施設の維持管理と老朽化対策	90.4%	1,105
イ	浸水対策(下水管・ポンプ場などの整備・内水ハザードマップの公表など)	64.2%	784
ウ	地震対策(下水道施設の耐震化・災害時下水直結式仮設トイレ(ハマッコトイレ)の整備など)	56.0%	684
エ	地球温暖化対策・エネルギー対策(下水汚泥を活用した発電・省エネの推進)	16.5%	202
オ	水質改善などの良好な水環境づくり	56.5%	690
カ	新興国の水環境改善への貢献と市内企業等の海外水ビジネス展開支援	14.0%	171
キ	下水道事業に関する技術開発(民間企業と連携した調査・研究)	21.3%	260



**Q6** Q5のうち、現在よりも力を入れるべき取組を選択項目の中から3つ選んでください。(3つまで選択可)

n = 1,222

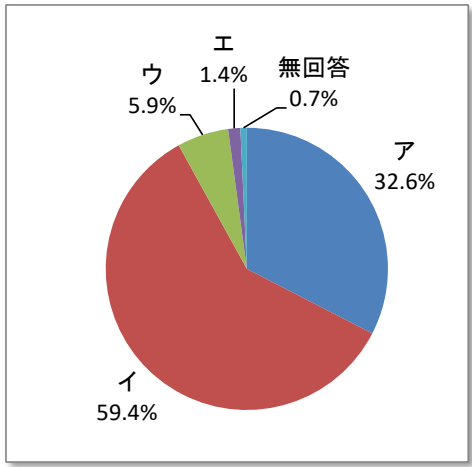
ア	下水道施設の維持管理と老朽化対策	78.4%	958
イ	浸水対策(下水道管・ポンプ場などの整備・内水ハザードマップの公表など)	45.8%	560
ウ	地震対策(下水道施設の耐震化・災害時下水直結式仮設トイレ(ハマッコトイレ)の整備など)	66.7%	815
エ	地球温暖化対策・エネルギー対策(下水汚泥を活用した発電・省エネの推進)	25.1%	307
オ	水質改善などの良好な水環境づくり	29.0%	354
カ	新興国の水環境改善への貢献と市内企業等の海外水ビジネス展開支援	6.1%	75
キ	下水道事業に関する技術開発(民間企業と連携した調査・研究)	15.3%	187



**Q7** 家庭で使った汚れた水は水再生センターできれいに再生され、海や川に返しています。鶴見川の水量の約7割は下水処理水であると推定されており、下水道事業は良好な水環境づくりに貢献するとともに、現在も水質改善を図る取組を進めています。この良好な水環境創出への取組について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(単一選択)

n = 1,222

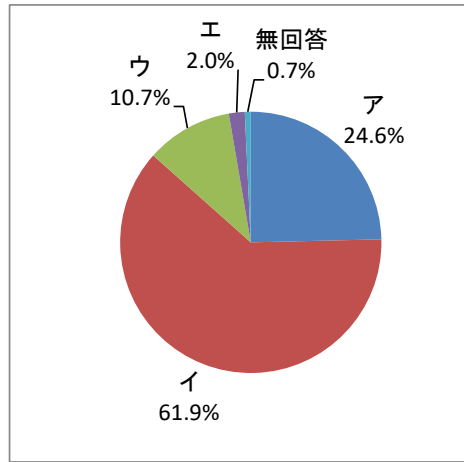
ア	満足(足りている)	32.6%	398
イ	やや満足(概ね足りている)	59.4%	726
ウ	やや不満(やや足りていない)	5.9%	72
エ	不満(足りない)	1.4%	17
無回答		0.7%	9
		100.0%	1,222



**Q8** 下水道には汚水を処理するだけでなく、雨水を川や海に排水する役割があります。横浜市では大規模な浸水が想定される地域で雨水を排水するための下水道管などの整備を進めています。この浸水対策の取組について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。  
(単一選択)

n = 1,222

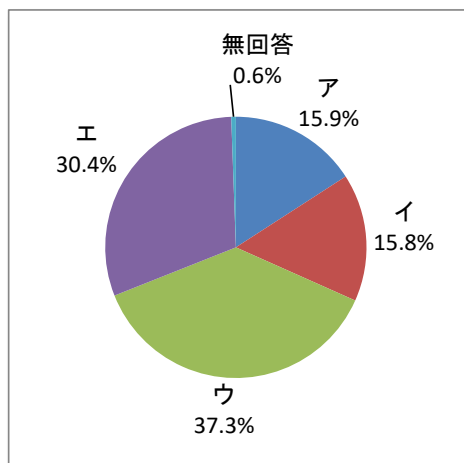
ア	満足(足りている)	24.6%	301
イ	やや満足(概ね足りている)	61.9%	757
ウ	やや不満(やや足りていない)	10.7%	131
エ	不満(足りない)	2.0%	24
無回答		0.7%	9
		100.0%	1,222



**Q9** Q8の下水道管などの整備だけでなく、下水道の排水能力を上回る大雨時などに下水道等からの浸水が想定される地域をマップにした内水ハザードマップも作成しています。近年の豪雨を考慮し、今年度、内水ハザードマップを改定しました。あなたは、内水ハザードマップについて、知っていましたか。  
(単一選択)

n = 1,222

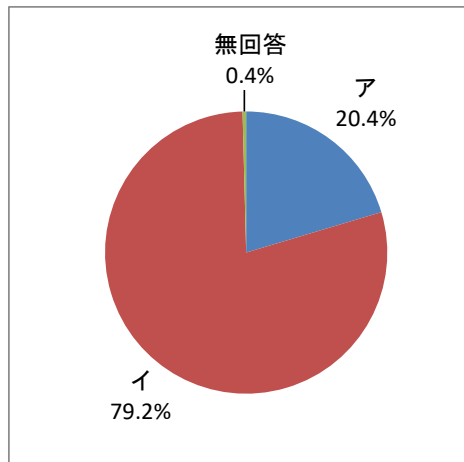
ア	改定された内水ハザードマップを確認した	15.9%	194
イ	改定されたことは知っているが新しいものはまだ確認していない	15.8%	193
ウ	内水ハザードマップのことは知っているが改定されたことは知らなかった	37.3%	456
エ	そもそも内水ハザードマップについて知らなかった	30.4%	372
無回答		0.6%	7
		100.0%	1,222



**Q10** 下水道事業では水をきれいにするために、多くの電力が使用されており、現在、年間17万トンの温室効果ガスが排出されています。これは横浜市役所の温室効果ガス排出量の約20%に相当します。あなたは、下水道事業で多くの温室効果ガスが排出されていることを知っていましたか。  
(単一選択)

n = 1,222

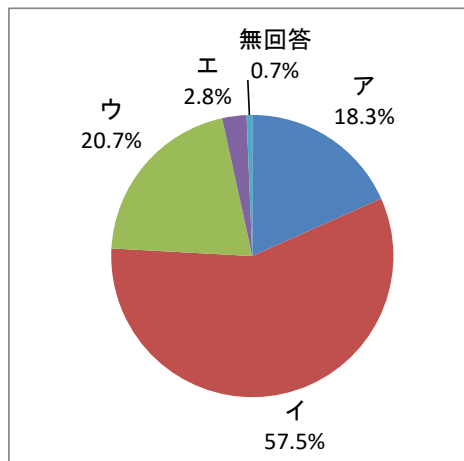
ア	はい	20.4%	249
イ	いいえ	79.2%	968
無回答		0.4%	5
		100.0%	1,222



**Q11** 横浜市では下水処理の過程で発生する汚泥を使って発電し、有効活用しています。また、水再生センターで省エネに関する取組なども実施しています。この下水道事業におけるエネルギーの有効活用や省エネの取組について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。  
(単一選択)

n = 1,222

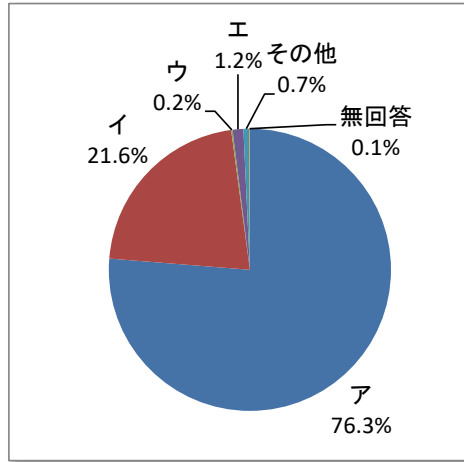
ア	満足(足りている)	18.3%	224
イ	やや満足(概ね足りている)	57.5%	703
ウ	やや不満(やや足りていない)	20.7%	253
エ	不満(足りない)	2.8%	34
無回答		0.7%	8
		100.0%	1,222



**Q12** 下水道に対するイメージについてお聞きます。今回のアンケートにおいて、横浜市の下水道事業の様々な役割や取組についてお聞きしてきましたが、あなたは「下水道」に対してどのような印象をお持ちですか。  
(単一選択)

n = 1,222

ア	重要なインフラであり興味がある	76.3%	932
イ	重要なインフラではあるがあまり興味は感じない	21.6%	264
ウ	あまり重要なインフラではない	0.2%	2
エ	特に何も感じない	1.2%	15
その他		0.7%	8
無回答		0.1%	1
		100.0%	1,222



その他(抜粋)

横浜市は下水道事業は完全とは言わないが、他の自治体に比べてかなりきちんとおこなわれていると思う。

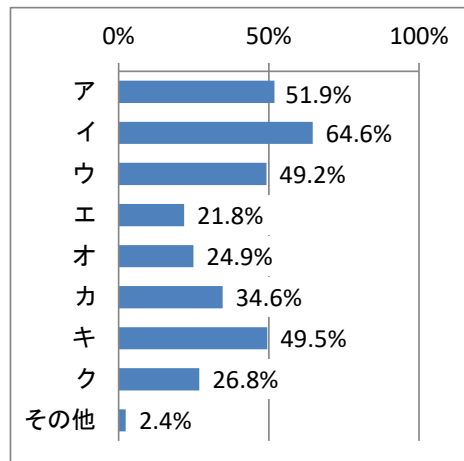
あまりにも何も知らないことが多かったです。

下水道はあって当たり前、とっていて重要なインフラとかそうでないとかは余り考えてこなかったが、今後は下水道事業に興味を持ってみたい。

**Q13** 下水道に関する情報について、知りたいものを全て選んでください。  
(複数選択可)

n = 1,222

ア	下水処理の仕組みや下水道の役割	51.9%	634
イ	浸水対策や地震対策の取組と効果	64.6%	790
ウ	下水道使用料の内訳と使い道	49.2%	601
エ	下水道に関するイベントや環境教育に関する情報	21.8%	266
オ	下水道に携わる人の具体的な仕事	24.9%	304
カ	自宅周辺の工事の次期や内容	34.6%	423
キ	家庭でできる取組	49.5%	605
ク	下水から得られる情報(下水中のコロナウイルスなど)	26.8%	328
その他		2.4%	29



その他(抜粋)

老朽化した下水道管の更新など、施設の長寿命化と財政負担の見通し。

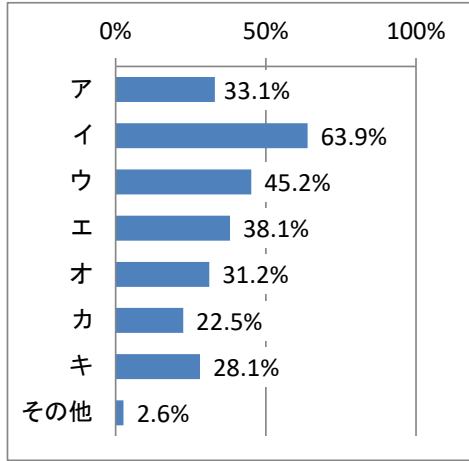
他国で導入されている下水道のテクノロジーや取組。最新・未来の技術。

水道料金や下水道料金の値上に関する論議も大事ですが、高度処理や下水汚泥焼却灰の再利用についても広く公知するべきです。

**Q14 下水道の広報活動に興味のあるものを全て選んでください。(複数選択可)**

n = 1,222

ア	小学校等へのお出前講座や親子の下水道教室	33.1%	404
イ	水再生センターの見学会	63.9%	781
ウ	工事現場や雨水幹線などの見学会	45.2%	552
エ	下水道のしくみや役割を紹介する動画	38.1%	465
オ	下水道施設を紹介するオンライン見学会	31.2%	381
カ	各種イベントでのブース展示(顕微鏡・水処理模型)	22.5%	275
キ	雨水貯留タンクや雨水浸透ますの設置助成とそのPR	28.1%	343
その他		2.6%	32



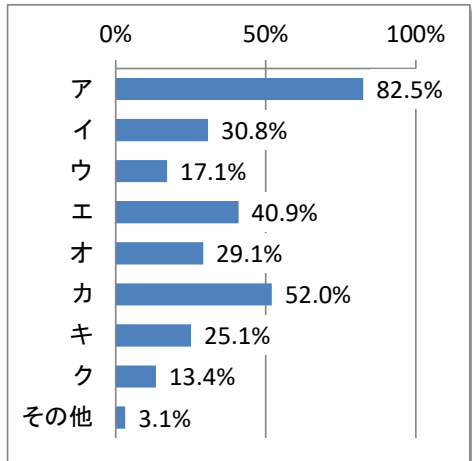
その他(抜粋)

特になし
小学校に限らず、希望する団体へのお出前講座を希望します。
災害時の下水道の使用について。例えば下水道の被害の場所や使用の可否などの情報の入手方法、使用できない場合に備えておくべきことや代替策(特に家庭内でできることについて)

**Q15 下水道事業を広報するうえで適している媒体は何だと思いますか。あてはまるものを全て選んでください。(複数選択可)**

n = 1,222

ア	「広報よこはま」など市が発行する各戸配布の広報紙	82.5%	1,008
イ	区役所などで入手できるパンフレットやチラシ	30.8%	376
ウ	新聞・雑誌広告	17.1%	209
エ	公共料金の支払い明細(裏面)	40.9%	500
オ	自治会の回覧板	29.1%	356
カ	横浜市のホームページなどインターネット	52.0%	636
キ	ツイッターなどのSNSやメールマガジン	25.1%	307
ク	デジタルメディア広告(YouTube広告)	13.4%	164
その他		3.1%	38



その他(抜粋)

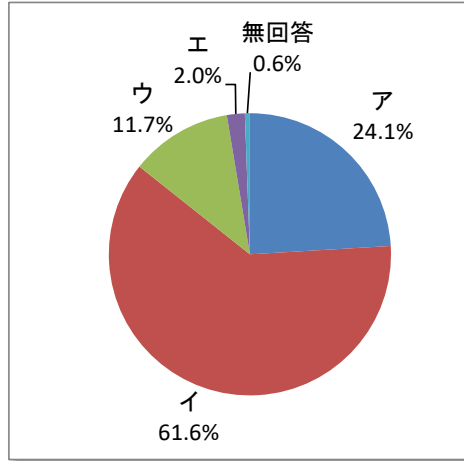
テレビ神奈川でPR
学校や地域のイベント
電車、バスの広告



**Q16** 今回のアンケートで、下水道の様々な取組等についてお聞きしてきましたが、横浜市の現在の下水道事業について満足していますか。最もあてはまるものを選んでください。  
(単一選択)

n = 1,222

ア	満足(足りている)	24.1%	294
イ	やや満足(概ね足りている)	61.6%	753
ウ	やや不満(やや足りていない)	11.7%	143
エ	不満(足りない)	2.0%	25
無回答		0.6%	7
		100.0%	1,222



**Q17** Q16の回答を選択した理由を自由にご記入ください。  
(自由意見)

(抜粋)

不満はないから。日常、関心が低いということは、うまくいっているからだと思う。一方で、意識するということは、何らかの不満があるからだと思う。縁の下の力持ちの仕事とは、そんなものではないでしょうか。改めて、感謝しています。

集中豪雨のとき、道路に雨水が溢れることがあり、処理能力が足りていないのではないかと懸念されるから。

下水道の仕組みはあまり知りませんが、興味はあります。浸水対策など知っておかなければならないと、今回のアンケートで思いました。一般の人に向けてのPRは大切だと思うので、今後の広報周知よろしくお願いします。

老朽化した下水道管の更新など進捗状況に不安がある。

何が不足なのか、満足なのか、判断できる材料を持ち合わせていません。

毎月の下水道使用料が高いと思うから。

地震や大雨など環境の変化に対応できる下水道の維持に取り組んでいただいていることが感じられます。色々な問題もある事かと思いますが今後も期待しています。

トイレや生活排水を当たり前のように流せる日常は日々下水処理場で仕事をしてくださる方々のおかげです。感謝しています。欲を言うと、地球温暖化の抑制につながる改善が更にできるのであればそうしてほしいと思います。

インフラの整備はとても大切なことだと思いますが、それに関わる人的な育成が進んでいないのではないのでしょうか。機械化が進んでも点検や整備などに関わるのは人だと思うので、技術者の若手育成を進めてほしいと思います。